

映画『海の産屋 雄勝法印神楽』シアターキネマテイカで上映

海は豊穡の産屋。  
この三陸の海辺、新しい命を生む母なる産屋の庭に  
祈りと喜びの神楽が舞い遊ぶ。

【ドキュメンタリー映画】

# 海の産屋

うぶや

おがつ ほういん かぐら  
雄勝法印神楽

法印とは、修験者・山伏のりて



宮城県

雄勝半島の立浜

大津波で四六軒中

一戸だけしか

残らなかつた漁村で、

一二人の漁師たちが

立ち上がった。

魂をやり振るわす

芸能の底力を描いた

ドキュメンタリー。

【出演】

雄勝法印神楽保存会

【語り】

寺尾聡

【監督】

北村皆雄・戸谷健吾

【プロデューサー】

手塚真・三浦庸子

【製作】

ヴァジュアルフォークロア  
ネオンテトラ

2018年制作(2012撮影) / 日本 / 77分 <https://www.umino-ubuya.com/> @umino-ubuya

本作の音楽を担当した仲野麻紀コンサート同時開催

2026年4月5日(日)

上映日時

13:00～：映画上映(開場：12:30～)

上映終了後には北村監督によるアフタートーク有り  
===休憩後===

14:30～：仲野麻紀コンサート(サックス演奏)

料金

2,500円(上映+コンサート)

※中学生以下無料

予約

オンライン予約はQRコードから

主催

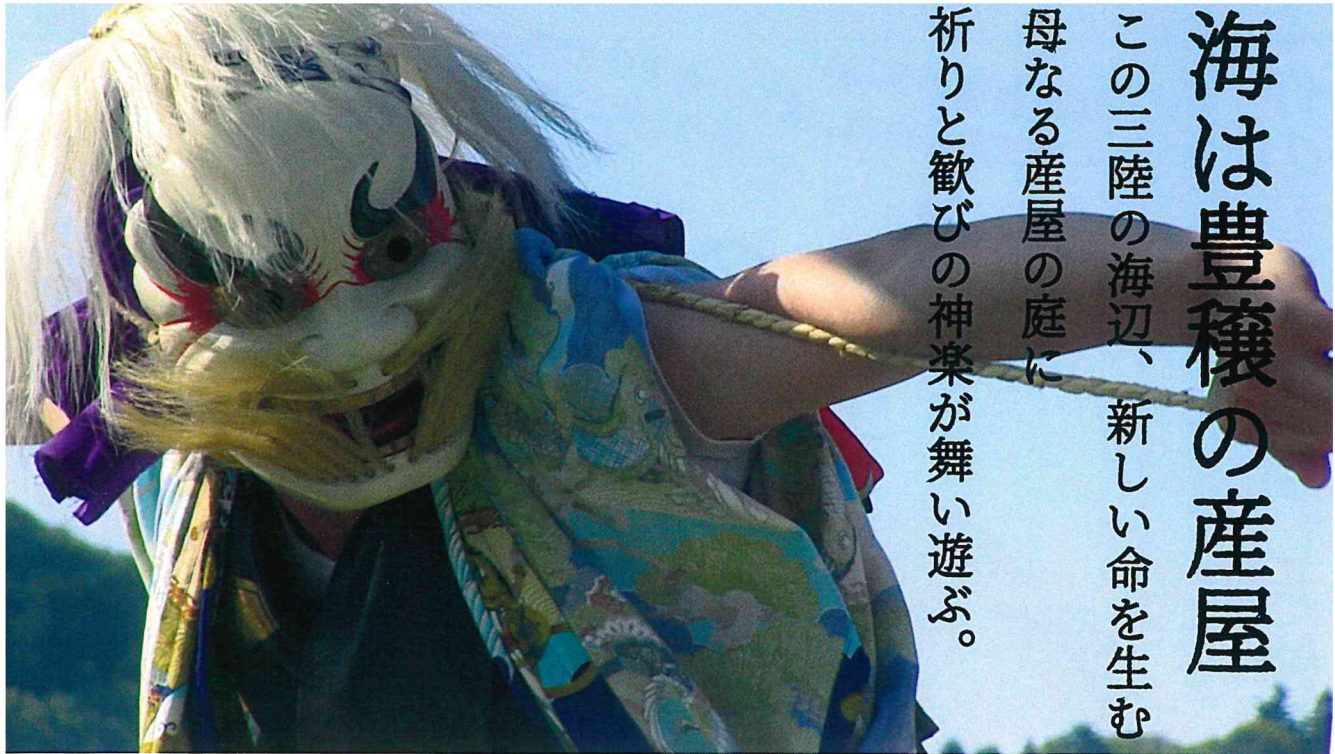
海の産屋上映実行委員会

=GUEST=  
サックス奏者  
文筆家  
仲野麻紀



# 海は豊穡の産屋

この三陸の海辺、新しい命を生む  
母なる産屋の庭に  
祈りと歓びの神楽が舞い遊ぶ。



『海の産屋 雄勝法印神楽』 監督 / 北村皆雄・戸谷健吾 プロデューサー / 手塚 眞・三浦庸子  
2017年/日本/75分

宮城県石巻市雄勝町は、東日本大震災の大津波で46軒中1戸だけを残し被災した。

その絶望の淵から立ち上がったのは、村に残ることを決めた12人の漁師たち。

「いっさい、いっさい、海を恨んでいねえ」と、男たちは生活の再建とともに祭りの復興に乗り出した。流出した一切の神楽面と祭具を作直し、何も無い海辺の居住地跡に柱を立て、舞台を作る。

神楽に憑かれ“好き神”を自称する漁師が祈りの神楽を舞い、二人の太鼓打ちが息を合わせ600年前と変わらぬリズムを刻む。産屋の庭に神楽が舞い遊び、笛・太鼓の音が、命の誕生を告げる産声のように響く。海辺に立てられた舞台、それは新しい命を再生し、力強く支動させてくれる産屋となったのだ。津波から1年後、人々を勇気づけ絆を取り結ぶ芸能の底力を描いたドキュメンタリー。



© Hirofumi Nakagawa

## 中野 麻紀 | サックス奏者・文筆家

02年渡仏、パリ市立音楽院ジャズ科修了。エリック・サティの楽曲を取り入れたユニット「Ky キー」、西アフリカ&フランスの音楽家たちによる「Bala Dee」、モロッコ・スーフィー教団楽士とのプロジェクトなどを並行し、ジャズとワールドミュージックを横断。openmusicを主宰。高野山金剛峯寺開創1200年予祝・作家夢枕獏との「空海・生命の海」朗読コンサート制作や、レーベル運営・招聘を行う。フランス・グルターニュに非営利団体「芸術と文化の共生」を設立。日仏間で多分野の講演会、ワークショップ、上映会を企画。月齢周期のインターネットラジオopenradiは360回を迎えて続行中。『旅する音楽』(せりか書房)で第4回鉄犬ヘテロトピア文学賞受賞。最新作はCD句集『古今』等アルバム多数。ふらんす俳句会友。映画『海の産屋 雄勝法印神楽』の音楽にも携わっている。

## 2026年4月5日(日) シアターキネマティカ

**上映日時** 13:00～：映画上映 (開場：12:30～)  
上映終了後には北村監督によるアフタートーク有り  
=== 休憩後 ===  
14:30～：仲野 麻紀コンサート (サクソ演奏)

**料金** 2,500円 (上映+コンサート)  
※中学生以下無料

**予約** オンライン予約はQRコードから



**チケット** シアターキネマティカ&カフェCityLights  
(カフェカウンターにて販売しております)

**問い合わせ** 宮城県石巻市中央1丁目3-12 旧日活パル横 (近隣の有料駐車場をご利用ください)  
TEL: 0225-98-4765 (金・土・日 11:00~17:00)  
MAIL: kinema@r-ishinomaki.net